

## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社ひとまいる 上場取引所 東  
 コード番号 7686 URL <https://www.hitomile.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 前垣内 洋行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 野田 智裕 TEL 03 (5959) 3088  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月10日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	139,837	4.0	1,971	10.7	1,943	7.1	1,175	119.0
2025年3月期	134,514	3.9	1,781	△37.9	1,815	△36.9	536	△66.4

（注）包括利益 2026年3月期 1,181百万円（119.3%） 2025年3月期 538百万円（△66.7%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	40.69	39.96	25.5	5.2	1.4
2025年3月期	18.79	18.36	12.9	5.2	1.3

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 2百万円 2025年3月期 -百万円

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	38,366	5,002	13.0	171.34
2025年3月期	36,059	4,230	11.7	147.29

（参考）自己資本 2026年3月期 4,994百万円 2025年3月期 4,230百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,604	△3,197	643	2,859
2025年3月期	2,585	△3,002	74	2,809

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	30.00	—	10.00	—	580	106.4	13.7
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	582	49.2	12.6
2027年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00		90.2	

（注）1. 配当金総額には従業員持株ESOP信託に対する配当金支払額(2026年3月期 4百万円)を含んでおります。  
 （注）2. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。上記の2025年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は、株式分割前の金額を記載しております。2025年3月期の1株当たり配当金合計は、株式分割の実施により、第2四半期末配当金と期末配当金の単純合算ができないため記載しておりません。なお、株式分割を考慮した場合の2025年3月期第2四半期末の1株当たり配当金は10.00円、年間配当金合計は20.00円になります。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	3.7	2,100	6.5	1,950	0.3	650	△44.7	22.17

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	29,146,200株	2025年3月期	29,018,700株
② 期末自己株式数	2026年3月期	549株	2025年3月期	300,349株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	28,885,791株	2025年3月期	28,570,548株

（注）1. 期末自己株式数には、従業員持株E S O P信託口の保有する当社株式（2025年3月期 299,800株 2026年3月期 -株）を含めております。

2. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料のP3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当期において、当社グループは「地域の人々の暮らしのどんな小さな願いも叶えたい」という理念のもと、飲食店向け及び家庭向けの酒類需要のみならず、構造改革による他人物配送(有償配送)体制の構築を図り、新たなサービスの稼働へ向けて努めてまいりました。

当連結会計年度における当社グループの経営成績は、売上高139,837百万円（前連結会計年度比4.0%増）、営業利益1,971百万円（前連結会計年度比10.7%増）、経常利益1,943百万円（前連結会計年度比7.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,175百万円（前連結会計年度比119.0%増）となりました。

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりであります。

「時間帯配達事業」の売上高は82,939百万円（前連結会計年度比5.0%増）、営業利益は1,604百万円（同2.6%減）となりました。メーカー値上げに対する価格転嫁の影響及び、個人飲食店の顧客獲得が進み売上は好調に推移したものの、前連結会計年度に配送拠点、人員を増加した影響により、増収減益となりました。

「ルート配達事業」の売上高は41,014百万円（前連結会計年度比6.8%増）、営業利益は482百万円（同43.7%減）となりました。メーカー値上げに対する価格転嫁及び新規顧客獲得の影響により、客数・客単価が前連結会計年度を上回ったものの、南東京センター移設による家賃増及び管理コストの増加により増収減益となりました。

「店頭販売事業」の売上高は14,104百万円（前連結会計年度比9.2%減）、営業利益は905百万円（同40.5%増）となりました。業績不振店舗の撤退や、前年度に都内で大規模に実施されたキャッシュレスキャンペーンの反動、物価上昇に伴う一部の顧客離脱が見られた影響等により減収となった一方で、前連結会計年度に実施した時間帯配達事業への人員異動でコストが減少した影響により増益となりました。

「その他」の売上高は1,779百万円（前連結会計年度比10.1%増）、営業利益は285百万円（同67.0%増）となりました。本セグメントには、EC宅配事業や他酒類販売者への卸売り及び物流事業が含まれております。

### （2）当期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べ2,307百万円増加し、38,366百万円となりました。主な要因は、関係会社株式の増加878百万円、繰延税金資産の増加738百万円、ソフトウェアの増加573百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,535百万円増加し、33,364百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加2,229百万円、未払法人税等の増加495百万円、短期借入金の減少1,143百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ772百万円増加し、5,002百万円となり自己資本比率は13.0%となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加1,175百万円、配当による利益剰余金の減少580百万円によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は2,859百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,604百万円（前連結会計年度は2,585百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益（1,318百万円）、減価償却費（938百万円）、減損損失（654百万円）、棚卸資産の減少（570百万円）等で増加し、仕入債務の減少（797百万円）等で減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,197百万円（前連結会計年度は3,002百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出（2,326百万円）、関係会社株式の取得による支出（882百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は643百万円（前連結会計年度は74百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入（4,417百万円）、長期借入金の返済による支出（1,636百万円）、短期借入金の純減少額（1,694百万円）、配当金の支払額（563百万円）によるものであります。

（4）今後の見通し

2025年の飲食店の倒産件数は過去最多を記録しており、取引先飲食店の倒産、閉店による売上減少や、物流ドライバー不足による販売力低下などに苦慮する酒類卸業が数多くあるとみております。当社グループはお客様のご要望にきめ細やかに応えられる「カクヤモデル」をさらに磨き上げることで新規取引先を獲得し、残存者利益の獲得を狙います。

また、事業再編により、受注・決済・マーケティングなど一貫したサービスを外部企業に提供可能な販売プラットフォームを構築することで、酒類だけでなく他社商品を含む多種多様な商品をまとめて顧客から受注、配達、請求することを可能とし、顧客満足度の向上と事業拡大を目指してまいります。

2027年3月期においては、上記事業の萌芽期と位置づけ、通期業績見通しは、売上高145,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益1,950百万円、親会社株主に帰属する当期純利益650百万円と予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間での比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,837	2,936
売掛金	10,390	10,719
商品	6,247	5,677
未収入金	1,515	1,340
その他	1,340	1,385
貸倒引当金	△81	△85
流動資産合計	22,248	21,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,334	5,007
工具、器具及び備品（純額）	367	353
土地	2,720	2,570
リース資産（純額）	78	60
建設仮勘定	332	—
その他（純額）	16	3
有形固定資産合計	7,848	7,995
無形固定資産		
のれん	978	800
ソフトウェア	785	1,359
ソフトウェア仮勘定	756	1,074
その他	2	7
無形固定資産合計	2,523	3,241
投資その他の資産		
投資有価証券	380	539
関係会社株式	—	878
繰延税金資産	492	1,231
敷金及び保証金	2,397	2,404
その他	262	177
貸倒引当金	△94	△75
投資その他の資産合計	3,438	5,155
固定資産合計	13,811	16,392
資産合計	36,059	38,366

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,721	16,921
短期借入金	6,021	4,877
リース債務	19	19
未払法人税等	255	751
賞与引当金	535	726
株主優待引当金	—	6
資産除去債務	—	43
その他	2,449	2,815
流動負債合計	27,003	26,162
固定負債		
長期借入金	3,081	5,311
リース債務	67	47
繰延税金負債	116	98
資産除去債務	1,479	1,700
その他	80	44
固定負債合計	4,825	7,202
負債合計	31,829	33,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	70	85
資本剰余金	3,578	3,592
利益剰余金	567	1,161
自己株式	△135	△0
株主資本合計	4,081	4,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148	154
その他の包括利益累計額合計	148	154
新株予約権	—	8
純資産合計	4,230	5,002
負債純資産合計	36,059	38,366

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	134,514	139,837
売上原価	103,449	105,830
売上総利益	31,065	34,007
販売費及び一般管理費	29,283	32,035
営業利益	1,781	1,971
営業外収益		
受取手数料	6	6
受取保険金	16	18
受取保証料	28	4
違約金収入	74	37
償却債権取立益	—	11
持分法による投資利益	—	2
補助金収入	—	13
その他	21	35
営業外収益合計	148	130
営業外費用		
支払利息	65	108
店舗撤退損失	29	35
その他	19	13
営業外費用合計	114	157
経常利益	1,815	1,943
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
固定資産売却益	0	50
特別利益合計	0	50
特別損失		
減損損失	611	654
その他	4	21
特別損失合計	616	676
税金等調整前当期純利益	1,199	1,318
法人税、住民税及び事業税	341	902
法人税等調整額	321	△759
法人税等合計	663	142
当期純利益	536	1,175
親会社株主に帰属する当期純利益	536	1,175

## （連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
当期純利益	536	1,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	5
その他の包括利益合計	1	5
包括利益	538	1,181
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	538	1,181
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	64	3,572	561	△230	3,969
当期変動額					
新株の発行	5	5	—	—	11
剰余金の配当	—	—	△531	—	△531
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
自己株式の処分	—	—	—	94	94
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	536	—	536
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	5	5	5	94	112
当期末残高	70	3,578	567	△135	4,081

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	146	146	4,116
当期変動額			
新株の発行	—	—	11
剰余金の配当	—	—	△531
自己株式の取得	—	—	△0
自己株式の処分	—	—	94
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	536
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	1	1
当期変動額合計	1	1	114
当期末残高	148	148	4,230

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	70	3,578	567	△135	4,081
当期変動額					
新株の発行	14	14	—	—	29
剰余金の配当	—	—	△580	—	△580
自己株式の取得	—	—	—	△29	△29
自己株式の処分	—	△1	—	164	163
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,175	—	1,175
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	14	13	594	135	758
当期末残高	85	3,592	1,161	△0	4,839

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	148	148	—	4,230
当期変動額				
新株の発行	—	—	—	29
剰余金の配当	—	—	—	△580
自己株式の取得	—	—	—	△29
自己株式の処分	—	—	—	163
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	1,175
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5	5	8	13
当期変動額合計	5	5	8	772
当期末残高	154	154	8	5,002

## （4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,199	1,318
減価償却費	892	938
のれん償却額	163	178
減損損失	611	654
株式報酬費用	—	21
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	—
固定資産売却損益（△は益）	△0	△50
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△33	△15
賞与引当金の増減額（△は減少）	△5	191
支払利息	65	108
売上債権の増減額（△は増加）	△547	△329
棚卸資産の増減額（△は増加）	△591	570
未収入金の増減額（△は増加）	25	175
仕入債務の増減額（△は減少）	1,759	△797
未払金の増減額（△は減少）	△252	165
未払消費税等の増減額（△は減少）	△305	79
その他	25	△122
小計	3,007	3,086
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△65	△108
法人税等の支払額	△361	△381
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,585	2,604
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△2,531	△2,326
固定資産の売却による収入	0	210
投資有価証券の取得による支出	△0	△150
投資有価証券の売却による収入	0	—
関係会社株式の取得による支出	—	△882
敷金及び保証金の差入による支出	△289	△113
敷金及び保証金の回収による収入	114	107
資産除去債務の履行による支出	△120	△66
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△156	—
その他	△19	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,002	△3,197
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△677	△1,694
長期借入れによる収入	2,670	4,417
長期借入金の返済による支出	△1,520	△1,636
自己株式の取得による支出	—	△29
自己株式の処分による収入	94	135
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11	28
新株予約権の発行による収入	—	8
配当金の支払額	△501	△563
その他	△3	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	74	643
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△341	50
現金及び現金同等物の期首残高	3,151	2,809
現金及び現金同等物の期末残高	2,809	2,859

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、株式会社ミクリードの株式を新たに取得したことにより持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「時間帯配達事業」、「ルート配達事業」及び「店頭販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「時間帯配達事業」は、小型出荷倉庫や「なんでも酒やカクヤス」の各店舗などの拠点から、個人飲食店、一般消費者、法人のお客様に向けて「1時間枠」で365日・無料配達サービスを提供しております。「ルート配達事業」は、配送センターから、飲食チェーン、ホテル・レストラン等のお客様へ、日に一回の配達を行っております。「店頭販売事業」は、「なんでも酒やカクヤス」の各店舗へ来店されたお客様に店頭での販売を行っております。

## 2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債、その他項目の金額に関する情報

## I 前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2、4)	連結財務諸 表計上額
	時間帯 配達	ルート配達	店頭販売	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	78,986	38,385	15,526	132,898	1,615	134,514	—	134,514
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	78,986	38,385	15,526	132,898	1,615	134,514	—	134,514
セグメント利益 (注3)	1,646	857	644	3,148	171	3,319	△1,538	1,781
セグメント資産	9,635	12,613	1,692	23,941	474	24,416	11,643	36,059
その他の項目								
減価償却費	375	37	108	521	0	522	369	892
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,547	10	8	1,566	15	1,582	1,589	3,171

(注) 1. その他には、EC事業及び他酒類販売業者への卸売事業、物流業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しないグループ管理費用並びに共用資産の費用であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金や管理部門に係る固定資産等であります。

## Ⅱ 当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2、4)	連結財務諸 表計上額
	時間帯 配達	ルート配達	店頭販売	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	82,939	41,014	14,104	138,058	1,779	139,837	—	139,837
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	82,939	41,014	14,104	138,058	1,779	139,837	—	139,837
セグメント利益 (注3)	1,604	482	905	2,993	285	3,279	△1,307	1,971
セグメント資産	9,372	13,091	1,306	23,771	167	23,938	14,427	38,366
その他の項目								
減価償却費	324	128	61	513	0	514	423	938
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	1,251	259	46	1,557	9	1,566	1,206	2,772

(注) 1. その他には、EC事業及び他酒類販売業者への卸売事業、物流業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない共用資産の費用であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金や管理部門に係る固定資産等であります。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

## 1. 商品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 商品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する売上高が連結損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	時間帯配達	ルート配達	店頭販売	その他	全社・消去	合計
減損損失	577	-	34	-	-	611

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	時間帯配達	ルート配達	店頭販売	その他	全社・消去	合計
減損損失	583	-	71	-	-	654

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	時間帯配達	ルート配達	店頭販売	その他	全社・消去	合計
当期償却額	163	-	-	-	-	163
当期末残高	978	-	-	-	-	978

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	時間帯配達	ルート配達	店頭販売	その他	全社・消去	合計
当期償却額	178	-	-	-	-	178
当期末残高	800	-	-	-	-	800

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）  
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）  
該当事項はありません。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	147.29円	171.34円
1株当たり当期純利益	18.79円	40.69円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	18.36円	39.96円

- (注) 1. 1株当たり純資産額の算定に用いられた連結会計年度末の普通株式及び1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式の期中平均株式数については、自己名義所有株式分を控除する他、従業員持株E S O P信託が所有する当社株式（前連結会計年度末299,800株、期中平均株式数419,438株、当連結会計年度末—株、期中平均株式数171,889株）を控除して算定しております。
2. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	536	1,175
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	536	1,175
普通株式の期中平均株式数（株）	28,570,548	28,885,791
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（百万円）	—	—
普通株式増加数（株）	660,548	526,939
（うち新株予約権（株））	(660,548)	(526,939)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。